

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価等でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 特色ある学校づくりのための学校運営		○プラス言葉の実践や道徳の授業、人権の木等の取組で、人権意識が高まった。 ●言葉遣いは引き続き指導が必要。	・学校、地域・家庭で連携し、同一歩調での指導を行えるようにする。	・まず家庭であいさつをする。学校での「あいさつ運動」等を地域とともに行う。
1 規範意識の向上とあいさつの習慣化	A		・あいさつの大切さや仕方について指導するとともに、継続して校内、校外でのあいさつを啓発する。	
2 学習に働きかける環境づくりの推進	A	●児童と教員、保護者で、「あいさつができていない」の意識の違いがある。 ○各教科の授業で、ICTの活用場面が増えた。大型モニター等、計画的に購入が進んでいる。		
II 確かな学力の向上を図る学習指導		○全校体制で同じベクトルで人権教育の推進や啓発ができた。	・今後も学級、学校全体での賞賛の場を多く設ける。	
1 基礎学力の向上と定着	A			
2 課題解決学習や探究的な学習の実践	A	○賞賛の場を多く設けており、子供達の励みになっている。		
III 自己指導能力を高める児童・生徒指導		○全校体制で同じベクトルで人権教育の推進や啓発ができた。	・今後も学級、学校全体での賞賛の場を多く設ける。	
1 学業指導の徹底と居がい感のある学級づくり	A	○賞賛の場を多く設けており、子供達の励みになっている。		
2 自尊感情の育成	A			
IV 健康・安全、体力の向上		○マラソン大会は新規の行事であったが、多くの児童がめあてをもってマラソン大会に臨むことができた。また、ラグビー等、外部と連携し、児童が楽しく体力づくりを行えた。		・マラソン大会、新しいプール施設での体力づくりは体力向上につながる。
1 めあてをもった体力づくりの充実	A			
2 健康教育の推進	B			
3 安全指導の充実	B			

		<p>●生活習慣やリズムについては家庭との連携が必要である。</p> <p>○避難訓練や引渡し訓練等、計画的に実施できた。</p> <p>●登下校時のトラブル等、対応を行ったが、継続的な指導が必要である。</p>	<p>・生活習慣や生活リズムについて各種たより（学年・保健）等で啓発を図ったり、該当家庭に連絡して協力を仰いだりする。</p> <p>・食育については栄養教諭との連携を学年の計画に位置付ける。</p> <p>・学級活動や日常指導の場面で、安全について児童自身で考えさせる指導を行い、児童の危機回避能力を高める。</p>	<p>・スマートフォンやタブレット等の利用は、親の管理のもと、約束を守らせて使わせる。町や学校のノーメディアディ（毎週月曜日）やノーメディア週間を学校と家庭と同一歩調で行うことで、効果が上がる。</p>
V 家庭・地域との連携		○学校HPを毎日更新し、学校の様子を発信している。	・引き続き子供たちの様子をホームページ等で発信していく。	・PTA 広報誌は、文字が中心で読みにくいですが、HP は日々更新され、写真中心なので、HPでの発信は効果がある。
1 地域とともにある学校づくり	A	○コミュニティスクールがスタートし、昨年より地域ボランティアの活用が進んだ。		
2 地域・関係機関・家庭との連携	A	○SC、SSWや子育て支援課等、様々な関係機関と連携することができた。		
		●電話連絡や家庭訪問等で家庭と積極的に連携を図ってきたが、連携が難しい家庭もある。	・引き続き積極的に家庭との連携を行うとともに、子育て支援課やSC、SSW等の関係機関とも連携を図る。	